

第2章

秋田の目指す将来の姿

1 概ね10年後の姿 ～ “高質な田舎” の実現に向けて ～

本県が目指す“高質な田舎”は、「『秋田の原点』である豊かな自然や受け継がれてきた多様な文化に抱かれつつ、これを守り、ここに住む誰もが、一人ひとり自らの素養を磨き、豊かな心を持ってお互いを慈しみ合いながら、新たな産業や文化の創造にチャレンジし、生き生きとゆとりを持って暮らしている姿」です。

経済のグローバル化の進行や第4次産業革命の進展、新型コロナウイルス感染症をはじめとする突発的な災禍の発生など、社会経済情勢が大きく変化している中において、本県が人口減少問題を克服し、将来にわたって持続的に発展していくためには、時代のすう勢を見誤ることなく、本県の強みを最大限に生かしながら、“高質な田舎”の高みに向けて、一人ひとりが日々の永続的な取組を積み重ねていくことが必要であり、その指針となるプランにおいて各分野の取組により目指すべき「概ね10年後の姿」は次のとおりです。

具体像1 個性が尊重され一人ひとりが躍動する姿

(1) 誰もが活躍できる社会

多くの若者が夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、新たなビジネスの創出や地域づくりに参画しているほか、地域社会や職場において多数の女性リーダーがそれぞれの能力を発揮しながら活躍しています。

また、県民一人ひとりが個性を尊重し合いながら、多様な文化や様々な価値観を受け入れ、互いに支え合い、寛容でオープンな社会が形成されています。

(2) 子育ての希望がかなう社会

男性の育児休業の取得の日常化や、柔軟で多様な働き方の拡大、保育サービスの充実など社会全体で子育てを支え合う環境が整い、男女共に希望どおりに子育てしながら生き生きと暮らしているほか、県内各地で子どもの元気な声と笑顔があふれています。



(3) 活力ある文化芸術・スポーツの振興

歴史と特色を有する祭りや伝統芸能をはじめ、演劇や美術など、本県の文化芸術への関心が大きく高まり、次の世代への継承が進んでいるほか、多くの人々を魅了する文化として脚光を集め、盛んに公演が行われるなど、活気に満ちた地域となっています。



また、国際的な大会から誰でも参加しやすいスポーツイベントまで数多く開催され、老若男女を問わず多くの県民が様々なスポーツに親しんでいるほか、本県出身アスリートの活躍が県民の活力になっています。

(4) ICTの活用による個別最適な学びの実現

学校においてICTが日常的に活用され、遠隔地の専門家による授業や海外との交流など、場所や時間に制約されない多様な学習活動が行われているほか、学習履歴（スタディ・ログ）等の活用により、児童生徒一人ひとりの能力や適性に応じて個別最適化された学びが提供されています。



(5) 担い手の笑顔が咲き誇る農山漁村

半農半X[※]等の兼業スタイルの浸透により、農林水産業の担い手が確保されるとともに、移住・定住者や関係人口が増加し、多様な人材が満ちあふれ、活力ある農山漁村が形成されています。

※半農半X（エックス）：農業と他の仕事を組み合わせた働き方のこと



具体像2 産業競争力が強化され交流が活発な姿

(1) 外貨を稼ぐ成長産業の集積

新エネルギー関連など成長分野のリーディングカンパニーが数多く創出され、県内企業の新規参入が活発化するとともに、県内でのサプライチェーンの構築が進み、域内取引が活性化するほか、県外への高付加価値製品の出荷の増加により県際収支は改善傾向を強め、賃金水準が向上しています。



(2) 県産品のブランド化

秋田米のブランド力が強化され、市場シェアが拡大しているほか、園芸・畜産の生産基盤の強化とニーズに対応した流通販売体制の構築により、全国に名を馳せるトップブランド産地の形成が進んでいます。



また、高品質な日本酒や秋田ならではの食品の知名度が向上し、ECサイト等を通じた直接取引が活発化するとともに、伝統的工芸品の機能性・デザイン性が広く認められ、日本の生活文化・風習への注目が増している海外からも多くの注文が寄せられています。

(3) 利便性の高い交通ネットワーク

高速道路のミッシングリンクが解消され、4車線化が進捗しているほか、秋田新幹線の新仙岩トンネルの建設が進み、奥羽・羽越新幹線も整備に向けて一定の目処が立つとともに、航空路線やフェリー航路の利便性が向上し、国内外とのアクセス機能が強化されています。



また、デジタル技術の活用や、市町村、交通事業者等の更なる創意工夫により、各地域の実情に即した利便性の高い地域公共交通網が形成されています。



(4) 国内外との交流の拡大

秋田の魅力を存分に生かした滞在型・体験型観光コンテンツが人気の観光スタイルとして定着するとともに、最新のデジタル技術を活用したプロモーションが国内外の人々を魅了し、一度だけでなく何度も秋田を訪れる人が増加しており、注目度の高い観光エリアに成長しています。

(5) 最先端技術の活用の拡大

県内企業において時代のニーズを先取りした革新的な研究開発が活発に行われるとともに、生産力の向上と脱炭素化など環境負荷軽減の両立に向けた技術の実用化が進んでいるほか、県内企業が有する最先端技術が、国内外の企業や研究機関、投資家から注目を浴びています。

また、農林水産業において、若い担い手がAI等を利用したスマート技術を駆使しながら、生産性の高い効率的な生産活動を展開しています。

具体像3 安全・安心が確保されている姿

(1) 県民一人ひとりの健康づくりの定着

地域や家庭、職場等で心身の健康づくりに取り組む環境が整い、子どもから高齢者まで、県民一人ひとりが食生活や運動等の健康的な生活習慣についての正しい知識を身に付け、健康の維持・増進に向けた行動を実践し、QOL※が向上するとともに、元気な高齢者が仕事や地域活動の担い手として生き生きと活躍しています。

※QOL：Quality of Life（クオリティ・オブ・ライフ）の略語。「生活の質」や「人生の質」のこと。

(2) 充実した医療提供体制

オンライン診療や遠隔画像診断、医療情報の共有等のデジタル技術の活用を図りながら、医師・看護師等の医療を支える人材の育成・確保や、高度な医療から在宅医療・介護まで関係機関の役割分担と切れ目のない連携が進んでおり、医師の不足や地域偏在等の課題が克服され、どの地域に住んでいても安心して質の高い医療を受けることができる体制が整っています。



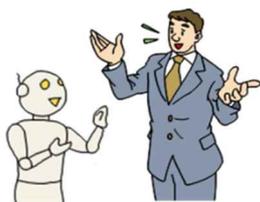
(3) 安全・安心で豊かな生活環境

大規模災害の発生に備えた交通基盤の整備や治水対策、橋梁等の耐震化・長寿命化等が進み、県民の生命と財産を守る強靱な県土が形成されています。

また、犯罪や事故のない安全・安心な暮らしが確保されているほか、多様な生物が生育・生息する森林等が保全され、水と緑にあふれた自然環境が県民に潤いと安らぎを与えています。

(4) 誰にも身近なデジタル技術

AIやビッグデータ、ロボット等の活用により、行政サービスが時間や場所を問わずオンラインで完結するほか、医療や介護、教育、交通などあらゆる分野において、県民一人ひとりのライフステージやライフスタイルに応じた多様なデジタルサービスが提供されており、年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが日常的にデジタル技術を取り入れた利便性の高い生活を送っています。



(5) 多様な主体で支え合う地域社会

買い物や通院、見守りなど高齢社会が抱える課題の解決に向けて、地域の結び付き等による持続可能な支え合いの取組が進み、誰もが安心して生活できる環境が整っています。

また、多くの県民が自発的に社会活動や地域活動に参加し、NPOや企業、行政など多様な主体と連携しながら、多様化・複雑化する地域課題の解決に取り組んでいます。

2 4年間で創造する“元気” ～「概ね10年後の姿」の実現に向けて～

“元気”は、高質な田舎につながる「概ね10年後の姿」の実現に向けた4年後の秋田の姿を表す定性的な目標です。

女性や若者をはじめ、県民誰もが真の豊かさを実感できる秋田の実現を目指し、これまでの取組の成果を着実に進展させるとともに、プランに基づき、本県の優位性を生かしながら、将来を見据えた実効性の高い施策・事業に果敢に取り組むことにより、“四つの元気”を創造します。

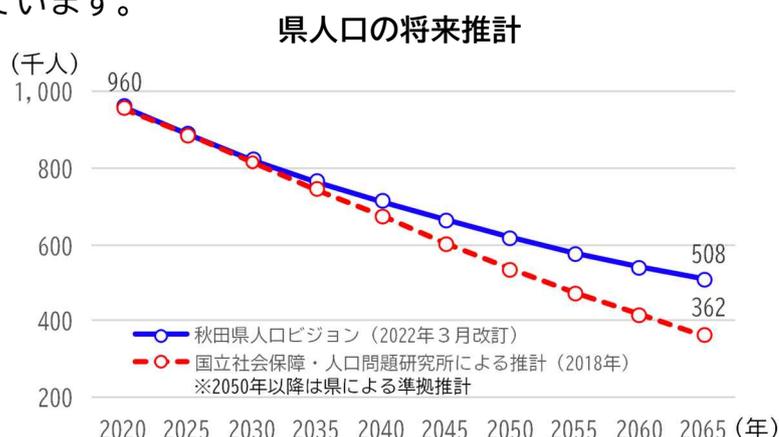
<p>強 韌 化 [レジリエンス Resilience]</p> <p>～しなやかな強さがある秋田～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域経済の好循環の創出 ◎県土の強韌化 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>持続可能性 [サステナビリティ Sustainability]</p> <p>～将来にわたり安心して暮らせる秋田～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域社会の維持・活性化 ◎県民の健康の維持・増進 ◎良好な環境の保全 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>存 在 感 [プレゼンス Presence]</p> <p>～日本の成長に貢献する秋田～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国に誇る資源のフル活用 ◎多彩かつ豊富な食料の供給 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>多 様 性 [ダイバーシティ Diversity]</p> <p>～誰もが生き生きと活躍できる秋田～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎県民一人ひとりの活躍の推進 ◎あらゆる差別の解消 ◎多様な人材の育成 <p style="text-align: right;">など</p>

3 目指すべき将来人口

秋田県人口ビジョン（2022年3月改訂）では、2040年に「希望出生率*1.8」と「転入・転出の均衡」を実現するものとして推計した人口（2065年：約51万人）を「目指すべき将来人口」として設定しています。

プランは、「目指すべき将来人口」を実現するための“新たな一歩”であり、若年女性の県内定着の促進など、あらゆる施策を総動員しながら、社会減・自然減の抑制に向けた4年間の歩みを着実に進めていきます。

※ 若い世代の結婚や子どもの数に関する希望がかなえられた場合の出生率



【目標値】

項目	現状値	目標値	
		【2025年】	【2030年】
総人口*1	【2021年】 94.5万人	88.8万人	82.2万人
社会増減数*2	【2021年】 ▲2,992人	【2025年】 ▲2,000人	【2030年】 ▲1,300人

※1 各年10月1日時点の総人口

※2 各年における前年10月1日から1年間の社会増減数

出典：県「秋田県年齢別人口流動調査」

【経過検証指標】

○自然増減数 ○若者の県内定着率 (例： $\frac{\text{現在の30歳人口}}{\text{15年前の15歳人口}}$)

出典：県「秋田県年齢別人口流動調査」

4 指標の設定

プランでは、本県の最重要課題である人口減少問題の克服に向けて、人口動態や賃金水準について中期的な観点から達成状況を判断する概ね10年後の目標値等（19ページ及び28ページ参照）のほか、“四つの元気”の創造に向けて展開する施策の効果等を測定するための2種類の指標を設定します。

成果指標

… 各年度の目標値を設定し、その達成を目指す指標

〔施策の直接的な効果等を定量的かつタイムリーに把握することができるもの〕

経過検証指標

… 目標値は設定しないものの、推移や傾向をしっかりと把握し、検証していく指標

〔景気その他の外的要因に大きく影響される指標など、成果指標には適さないが、施策の効果等に関する多角的な検証や取組の改善等に資するもの〕

【参考】目標値設定の考え方

成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、次の考え方に基づき目標値を設定しています。

①新型コロナウイルス感染症の影響がない（又は小さい）指標

直近の実績値やすう勢を踏まえ、一層努力することで到達できる「努力型」で設定します。



②新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

2022年10月1日に行動制限が完全に解除されるものと仮定した上で、コロナ禍前のすう勢を考慮して目標値を設定します。

